

From Ibigawa S A B O

梅雨の日々、この時期は太陽も雨雲も気まぐれな性格になるのでしょうか。真夏を思わせるような暑い日と、梅雨冷えの寒い日がランダムにやってきます。越美山系砂防事務所では、越美山系砂防ボランティア協会の総会で、協会会員の方と情報共有等を行いました。また、揖斐川町椋原地先の大蔵谷の現場においては、砂防堰堤本体のコンクリート初打設を行いました。

越美山系砂防ボランティア協会総会

越美山系砂防ボランティア協会総会が、6月9日に開催されました。当協会は、事務所管内において土砂災害等の発生時又は発生の恐れがある際に、土砂災害防止、復旧活動及び広報活動、砂防施設点検等に関するボランティア活動を行う事を目的としています。事務所からは三浦副所長が出席し、越美砂防の事業概要や最近の話題等を説明させていただき、協会会員の方々と情報共有を行いました。今後、砂防施設の安全利用点検を協会と事務所との協働で実施する予定です。

池谷用地官 優良用地職員表彰

岐阜県用地対策連絡協議会総会が6月17日に開催され、事務所の池谷用地官が、優良用地職員として表彰を受けました。当事務所には今年度より所属し、事業進捗に尽力しています。(池谷用地官のコメント)「自分としては『優良用地職員には程遠い存在』と感じており、大変息縮しているのが実感です。今後も引き続き公共用地の円滑な取得に向けて、日々精進していきたいと思ひます。」



記念写真(前列右端が用地官)

土砂災害から地域を守る =大仲津谷=

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先の大仲津谷(おおなかつたに)に、下流の諸家(もろか)集落を土砂災害から守り、横山ダム貯水池への土砂流入軽減を目的とした、大仲津谷第1砂防堰堤(堰堤高 H=9.5m)を建設する工事を再開します。



昨年度の工事完了状況

資材運搬には諸家集落内の町道を利用させていただきます。安全には十分気を付けて通行しますので、ご理解とご協力をお願いします。なお、今年度の工事をもって砂防堰堤の竣工を目指します。施工は(株)山辰組が行います。

全国の優秀論文に選ばれる

昨年度揖斐川町坂内坂本地先で工事を行った。平成24年度越美山系大仲津谷第1砂防堰堤工事(施工:(株)山辰組)の監理技術者 棚橋さんが、6月13日に東京で開催された「平成26年度 全国砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」において、全国より544課題の応募の中、優秀論文5課題に選ばれその成果を発表されました。

当工事は砂防の現場ではめずらしく集落の近くで行う工事、発表は「大仲津谷第1砂防堰堤工事における公衆及び第三者災害に対する安全対策について」と題し、架空線切断や第三者災害などの公衆災害を防止し、周辺住民の皆様にご迷惑をかけないための独自の取り組みをまとめて発表されました。



優秀論文者の記念写真 (前列左から3人目が棚橋さん)



論文を発表する棚橋さん

祝 Go初打設 =大蔵谷=

揖斐川町椋原(かしはら)地先で工事を行う大蔵谷(おぞうたに)第1砂防堰堤工事(施工:西濃建設(株))では、6月24日に砂防堰堤本体のコンクリート初打設を行いました。



初打設の状況

なお、本工事は砂防の仕事を知っていただくため、「旬な現場」として普段は立入禁止である工事現場を公開します。「旬な現場」の詳細は[ココ](#)をクリックしてください。(中部地整のHPへリンク)

夏の日潤いと涼しさを ~アジサイ~

雨の中、水滴を付けたアジサイが涼しそうにして花を咲かせています。

漢字では「紫陽花」と書くように、花の色は紫がベースですが、土壌が酸性の場合は青っぽく、アルカリ性の場合は赤っぽい花を咲かせると言われています。



出張所の裏庭にひっそりと咲くアジサイ



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel:0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawasabo@cbr.mlit.go.jp